

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公開番号】特開 2020-86021 (P2020-86021A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-217145 (P2018-217145)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 15/23 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 3 5

G 0 3 G 15/23

G 0 3 G 15/20 5 5 5

G 0 3 G 15/00 3 0 3

G 0 3 G 21/00 3 7 6

G 0 3 G 21/14

B 6 5 H 5/06 H

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに貼り合わされた紙の一部である貼り合わせ部を有する封筒の第一面と、互いに貼り合わされた紙の一部である貼り合わせ部とフラップとを有さない、前記第一面と反対側の前記封筒の第二面とに対し画像を形成可能な画像形成装置において、

封筒にトナー像を形成可能な画像形成部と、

定着部材と、前記定着部材を加熱する加熱部と、前記定着部材に当接して前記封筒が挟持搬送される定着ニップを形成する加圧部材を有し、熱及び圧により前記封筒にトナー像を定着させる定着装置と、

前記定着部材と前記加圧部材間の圧力を調整可能な加圧調整機構と、

前記封筒の前記第二面に画像を形成する指示が入力された場合には、前記加圧調整機構の圧力を第一の圧力に調整し、前記封筒の前記第一面に画像を形成する指示が入力された場合には、前記加圧調整機構の圧力を前記第一の圧力よりも大きい第二の圧力に調整することにより、トナー像が前記封筒に定着するように前記加圧調整機構を制御する制御部と、を備える、

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

封筒の坪量に関する情報を取得する取得部を備え、

前記制御部は、前記封筒の坪量が第一坪量の場合における前記第一の圧力と前記第二の

圧力とを、前記第一坪量よりも大きい第二坪量の場合における前記第一の圧力と前記第二の圧力よりも大きくするように前記加圧調整機構を制御する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記定着部材の表面温度を検出する温度検出部と、

封筒の坪量に関する情報を取得する取得部と、

前記温度検出部の検出結果に基づいて、前記封筒の表面温度が目標温度となるように前記加熱部の通電を制御する通電制御部と、を備え、

前記通電制御部は、前記封筒の坪量が第一坪量の場合に前記目標温度を第一温度に設定し、封筒の坪量が前記第一坪量よりも大きい第二坪量の場合に前記目標温度を前記第一温度よりも高い第二温度に設定する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記封筒の上面側にトナー像を形成する搬送路へ搬送されるように前記封筒を載置する第一載置部と、

前記封筒の下面側にトナー像を形成する搬送路へ搬送されるように前記封筒を載置する第二載置部と、

前記第一載置部と前記第二載置部とを選択可能な選択部と、

表示部と、

画像を形成する封筒の面を特定する情報を入力する入力装置と、を備え、

前記制御部は、前記入力装置により入力された情報に基づいて、前記第一載置部又は前記第二載置部に載置する封筒の載置方法を前記表示部に表示する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記第一載置部は、手差しトレイであり、

前記第二載置部は、カセットである、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記加熱部はコイルを有し、

前記定着部材は、磁束により生じる渦電流によって発熱する導電層を有する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記制御部は、封筒の第一面と第二面の両方に画像を自動的に形成する両面印刷モードを実行可能である、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一実施形態に係る画像形成装置は、互いに貼り合わされた紙の一部である貼り合わせ部を有する封筒の第一面と、互いに貼り合わされた紙の一部である貼り合わせ部とフラップとを有さない、前記第一面と反対側の前記封筒の第二面とに対し画像を形成可能な画像形成装置において、封筒にトナー像を形成可能な画像形成部と、定着部材と、前記定着部材を加熱する加熱部と、前記定着部材に当接して前記封筒が挟持搬送される定着ニップを形成する加圧部材を有し、熱及び圧により前記封筒にトナー像を定着させる定着装置と、前記定着部材と前記加圧部材間の圧力を調整可能な加圧調整機構と、前記封筒の前記第二面に画像を形成する指示が入力された場合には、前記加圧調整機構の圧力を第一の圧力に調整し、前記封筒の前記第一面に画像を形成する指示が入力された場合には、前記

加圧調整機構の圧力を前記第一の圧力よりも大きい第二の圧力に調整することにより、トナー像が前記封筒に定着するように前記加圧調整機構を制御する制御部と、を備える、ことを特徴とする。